

Title	ハイテク企業のR&Dの国際化
Author(s)	中田, 義直
Citation	年次学術大会講演要旨集, 5: 98-100
Issue Date	1990-10-27
Type	Presentation
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5267
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	シンポジウム

うにして、我々は国籍・国境のない研究・開発環境というものを作っていかなければならないし、その結果、研究員達にとっては職業の将来性がさらに広がり、自由なアイデアの交換も活発となってくる。

しかしながら、真に国際的な研究・開発機関を実現するために必要な努力、投資、そして忍耐力というものは実に重要で大変なものであるが、その3点がなければ、企業は世界市場において主役にはなれず、結局、脇役として終わってしまうことになると思う。

(注1) George A. Luers : 「ACCJ Journal」
1986年4月号、P. 72-78より抜粋。

(注2) D. E. Westney、K. Sakakibara 共著：
1985年発刊 「Technology in Society」
7巻、P. 315-330より抜粋。